第六次総合計画　施策評価シート（令和3年度）

5−⑤

施策

施設の利便性を高め，利用促進を図る

担当部局

企画財政局

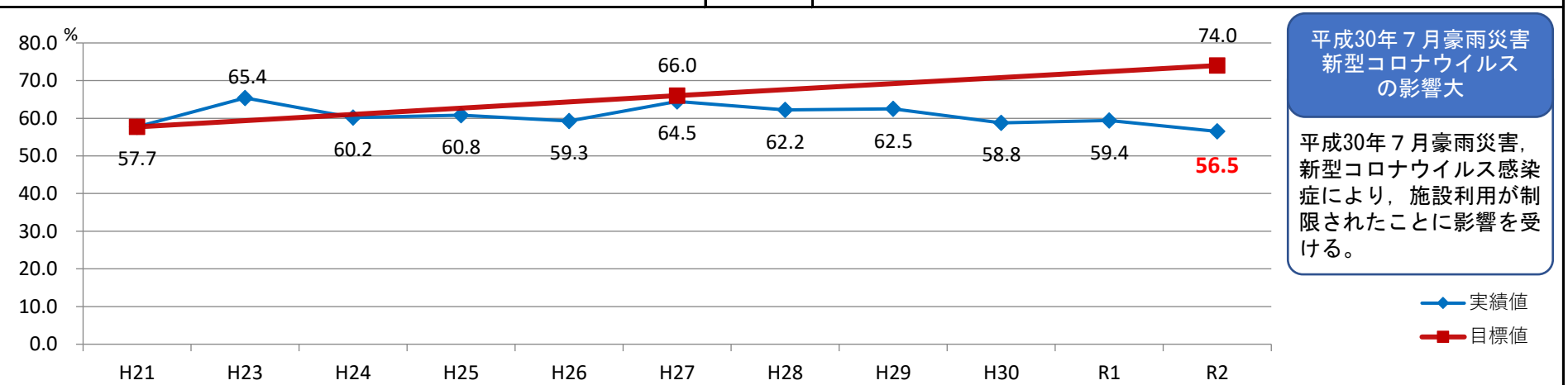
【快　　適】 めざすまちの姿 公共の施設が，市民にとって安全で使い勝手がよく，有効に活用されている

市の基本方針

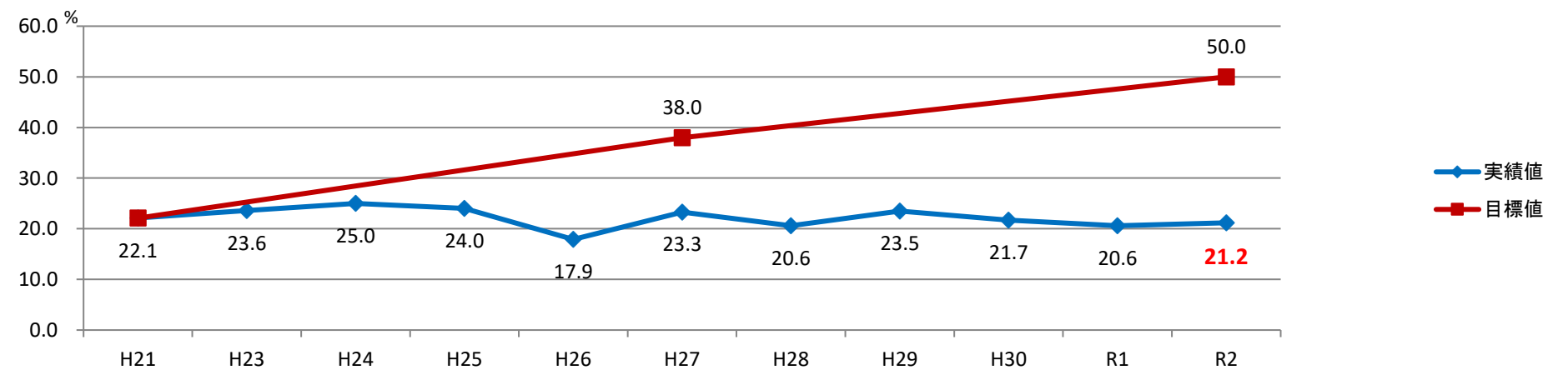
●施設の安全性を高めるとともに，地震発生時の避難場所としても活用できるよう耐震化を進めます。
●人に優しく，だれにでも利用しやすい施設をめざして，バリアフリー化を進めます。
●施設の開館日や利用時間等について，費用対効果を考慮しながら，利用者の視点で見直します。
●利用者の満足度やニーズを調査し，施設の管理運営について積極的に改善します。

数値目標

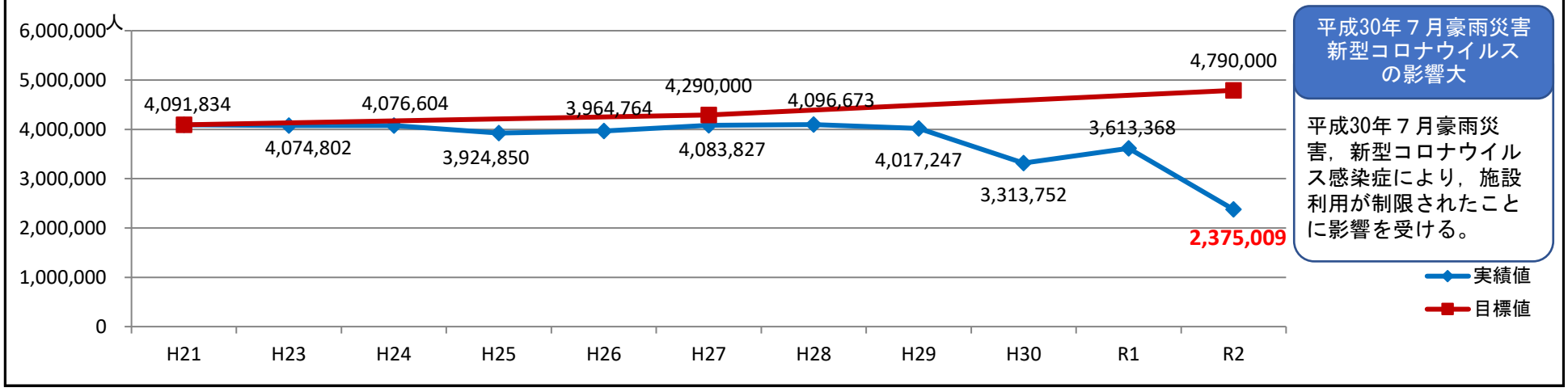
まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
公共施設を利用したい時に利用できると思っている人の割合	↗	市民アンケート調査で「市内の公共施設を利用したいときに利用できていますか。※ここでいう公共施設とは，図書館，ライフパーク，公民館，スポーツ施設をさしています。」という設問に対して，『はい，できています。』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設を利用したいときに利用できていますか。※公共施設とは，図書館，ライフパーク，公民館等の教育施設やスポーツ施設などをさしています。」という設問に対して，『はい，できています』と回答した人の割合。



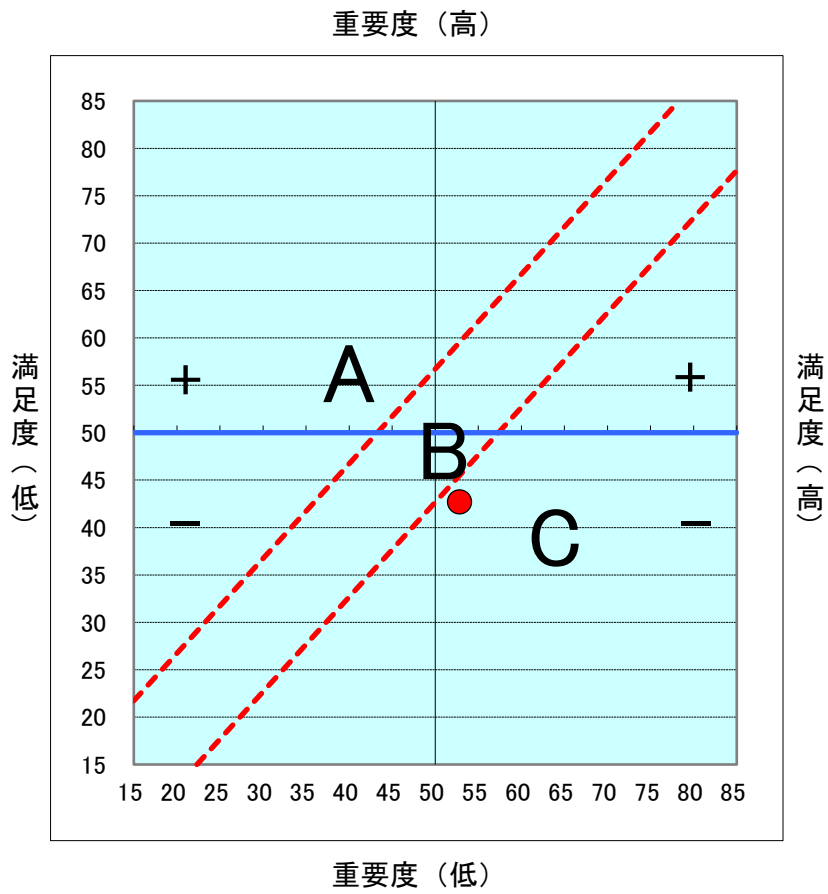
まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思っている人の割合	↗	市民アンケート調査で「市内の公共施設が利用者の意見を取り入れながら運営されていると思いますか。※ここでいう公共施設とは，図書館，ライフパーク，公民館，スポーツ施設をさしています。」という設問に対して，『思う』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)は「公共施設が利用者の立場にたって運営されていると思いますか。」という設問に対して『思う』と回答した人の割合。



まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
公共施設の利用者数（延べ人数／年度）	↗	スポーツ施設利用者数，図書館入館者数（ライフパーク図書室含む），ライフパーク利用者数，公民館利用者数



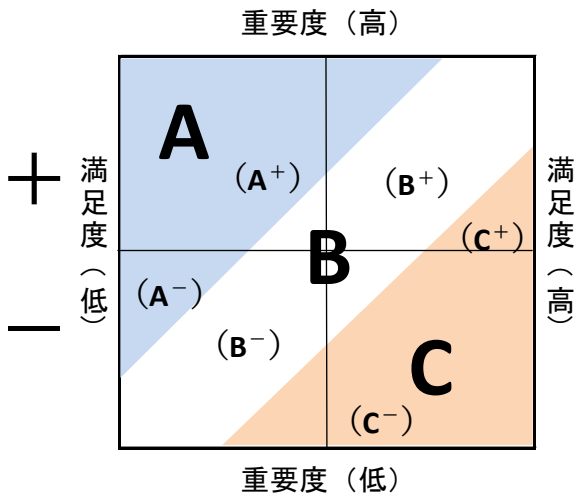
市民の重要度・満足度（R3.5アンケート調査結果）



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C⁻	42.70	52.83

●重要度に見合う以上の満足度が得られている（C）
●重要度が平均値より低い（－）

【グラフの見方】



Ａ：重要度に見合った満足度が得られていない領域
Ｂ：重要度に見合った満足度が得られている領域
Ｃ：重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※　以上の3つの領域を，さらに2つに分割（3×2領域）
＋：重要度が平均値より高い部分
－：重要度が平均値より低い部分

A^+，A^-，B^+，B^-，C^+，C^-

A^+：重要度が高く，その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的（Ⅰ）／令和２年度の主な実績（Ⅱ）／今後の方向性（Ⅲ）	R2年度決算額（千円）
	市の各施設は，その施設の目的に沿った「めざすまちの姿」へ位置付けしています。したがって，個別にここへは記載していませんが，ここに掲げた「市の基本方針」に沿った取り組みを進めます。		